

# 注釈一覧

当カタログにて掲載している注釈の一覧です。

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>P17_18の注釈</b> | <p>※1[テスト条件]タイヤサイズ:215/55R17 94V/空気圧:230kPa/速度:60km/h/試験車両:クラウンアスリートSハイブリッド DAA-AWS210-AEXXH 2500cc 後輪駆動/試験路面:当社ブルーピンググラウンドの荒れたアスファルト舗装路/スムーズなアスファルト舗装路/音圧レベル:荒れたアスファルト舗装路(GR-XII 61.2dBa, GR-XI 61.4dBa)/スムーズなアスファルト舗装路(GR-XII 44.1dBa, GR-XI 44.3dBa)/計測方法:各々の路面を走行した時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左耳近傍の音圧を計測。</p> <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:215/55R17 94V/空気圧:230kPa/速度:60km/h/試験車両:クラウンアスリートSハイブリッド DAA-AWS210-AEXXH 2500cc 後輪駆動/試験路面:当社ブルーピンググラウンドの荒れたアスファルト舗装路/計測方法:スムーズなアスファルト舗装路を走行時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左耳近傍の音圧を計測。/音圧レベル:GR-XII 44.4dBa, GR-XI 45.2dBa</p>   |
| <b>P19の注釈</b>    | <p>※1[テスト条件]タイヤサイズ:215/55R17 94V/試験荷重:4.81kN/空気圧:210kPa/速度:40km/h/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機/試験方法:室内ドラム試験機のドラムに突起を固定して、上下軸力を測定/突起形状:底辺40mm×上辺20mm高さ10mmの直方体</p> <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:215/55R17 94V/試験荷重:5.26kN/試験空気圧:210kPa/試験場所:当社技術センター室内のタイヤ静的接地圧測定装置/試験方法:室内試験機にタイヤをセットし、一定荷重を負荷して接地面に発生する接地圧を計測</p> <p>※3[テスト条件]タイヤサイズ:215/55R17 94V/試験荷重:4.61kN/試験空気圧:230kPa/試験速度:100km/h/試験場所:当社技術センター室内のタイヤ動的接地面解析装置/試験方法:室内ドラム試験機上でタイヤを回転し、タイヤ接地面に発生する横力を計測</p> <p>※4[テスト条件]タイヤサイズ:215/55R17 94V/試験荷重:5.26kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機</p> <p>※5[テスト条件]タイヤサイズ:215/55R17 94V/空気圧:230kPa/試験車両:クラウンアスリートSハイブリッド DAA-AWS210-AEXXH 2500cc 後輪駆動/試験距離:10000km/ローテーション:2500km走行時に1回実施</p>   |
| <b>P21の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:215/65R16 98H/空気圧:250kPa/速度:60km/h/試験車両:アルファード DAA-ATH20W 2360cc 電気式4輪駆動方式/試験路面:当社ブルーピンググラウンド内アスファルト舗装路/音圧レベル:前席 REGNO GRV II 55.2dBa, GRV 55.7dBa/後席 REGNO GRV II 56.6dBa, GRV 57.5dBa/計測方法:アスファルト舗装路を走行した時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左耳近傍および後席(3列目)右側の席の左耳近傍の音圧を計測。   |
| <b>P22の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:215/65R16 98H/試験荷重:5.5kN/空気圧:230kPa/試験速度:100km/h/試験場所:当社技術センター室内のタイヤ動的接地面解析装置/試験方法:室内ドラム試験機上で回転させたタイヤに制動力をかけ、タイヤ接地面に発生する制動力を計測 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:215/65R16 98H/試験荷重:5.88kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機</p> <p>※3[テスト条件]タイヤサイズ:215/65R16 98H/空気圧:250kPa/試験車両:アルファード DAA-ATH20W 2360cc 電気式4輪駆動方式/初速度:80km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):GRV II 30.45m, GRV 35.33m</p>  |
| <b>P23の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:REGNO GR-Leggera 155/65R14 75H, ECOPIA EX20C 155/65R14 75S/空気圧:230kPa/速度:40km/h, 80km/h/試験車両:ムーヴXターボ DBA-LA150S 660cc 前輪駆動/試験路面:当社ブルーピンググラウンドの荒れたアスファルト舗装路/計測方法:荒れたアスファルト舗装路を走行した時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左耳近傍の音圧を計測。 <p>*音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー低減率(%) = <math>(\frac{1}{10^{\frac{L_p - L_{p0}}{10}}} - 1) \times 100</math></p>  |
| <b>P24の注釈</b>    | ※1、2[テスト条件]タイヤサイズ:REGNO GR-Leggera 155/65R14 75H, ECOPIA EX20C 155/65R14 75S/試験荷重:3.6kN/空気圧:230kPa/試験速度:100km/h/試験場所:当社技術センター室内のタイヤ動的接地面解析装置/試験方法:室内ドラム試験機上でタイヤを回転し、タイヤ接地面に発生する接地圧を計測 <p>※3[テスト条件]タイヤサイズ:REGNO GR-Leggera 155/65R14 75H, ECOPIA EX20C 155/65R14 75S/空気圧:230kPa/試験車両:ムーヴXターボ DBA-LA150S 660cc 前輪駆動/試験距離:10000km/ローテーション:2500km走行時に1回実施</p>   |
| <b>P26の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:265/35R18 97W XL/空気圧:230kPa/試験車両:スカイラインGTR GF-BNR34 2600cc四輪駆動/試験場:筑波サーキットコース2000/ドライバー:当社委託プロドライバー <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:265/35R18 97W XL/空気圧:240kPa/試験車両:トヨタ86 DBA-ZN6 2000cc後輪駆動/試験場:筑波サーキットコース2000/ドライバー:当社委託プロドライバー</p>   |
| <b>P27の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:265/35R18 97W XL/試験荷重:7.5kN/空気圧:240kPa/試験場所:当社技術センター室内のタイヤ動的接地面解析装置/試験方法:室内試験機上でタイヤを圧着し、タイヤ接地面に発生する接地状態を計測  |
| <b>P28の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:215/45R17 91W XL/空気圧:240kPa/試験車両:トヨタ86 DBA-ZN6 2000cc 後輪駆動/試験場:筑波サーキットコース2000/ドライバー:当社委託プロドライバー/計測方法:GPSデータ記録装置にて車速及び走行ラインを各5回計測し、最速ラップ同士で比較/A地点の速度:RE-71R 117.9km/h, RE-11A 114.7km/h/B地点の速度:RE-71R 134.5km/h, RE-11A 131.1km/h/A~B区間の平均速度:RE-71R 124.3km/h, RE-11A 121.4km/h  |
| <b>P29の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:245/40R18 97Y XL/空気圧:240kPa/試験車両:BMW 328i DBA-3A20 2000cc 後輪駆動/試験場:当社ブルーピンググラウンドドライコース/ドライバー:社内テストドライバー <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:245/40R18 97Y XL/空気圧:240kPa/試験車両:BMW 328i DBA-3A20 2000cc 後輪駆動/初速度:80km/h/水深:1mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):S007A 25.89m, S001 26.50m</p>  |
| <b>P33の注釈</b>    | ※1[テスト条件]ノーマルタイヤ(POTENZA S001):245/40R18 97Y XL 従来のランフラットテクノロジー採用タイヤ(POTENZA RE050 RFT):245/40R18 93W POTENZA S001 RFT:245/40R18 93W 試験荷重:4.71kN 空気圧:240kPa 試験法の名称:静的荷重特性試験 試験場所:当社技術センター室内試験機  |
| <b>P42の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/空気圧:フロント230kPa・リア220kPa/試験車両:プリウス DAA-ZVW30 1790cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施  |
| <b>P44の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/空気圧:250kPa/試験車両:セレナ DBA-C26 1990cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施  |
| <b>P46の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:Playz PX-C 155/65R14 75H, ECOPIA EX20C 155/65R14 75S/空気圧:220kPa/試験車両:ムーヴ DBA-LA100S 650cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:Playz PX-C 155/65R14 75H, ECOPIA EX20C 155/65R14 75S/空気圧:220kPa/試験車両:ムーヴ DBA-LA150S 650cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施</p>  |
| <b>P49の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/空気圧:前輪230kPa/後輪220kPa/試験車両:プリウス DAA-ZVW30 1800cc 前輪駆動/初速度:80km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):【新品時(走行0km)】(ECOPIA NH100) 35.1m, (NEXTR) 36.4m【走行20,000km後(※)】(ECOPIA NH100) 39.3m, (NEXTR) 43.0m (※)20,000km走行品は下記のタイヤを使用 ECOPIA NH100:タイヤを27%パシし20,000km走行後条件を再現。(溝深さは5.8mm) NEXTR:タイヤを42%パシし20,000km走行後条件を再現。(溝深さは4.2mm)   |
| <b>P50の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/空気圧:フロント230kPa・リア220kPa/試験車両:プリウス DAA-ZVW30 1790cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/試験荷重:4.83kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機</p>   |
| <b>P51の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/試験荷重:4.83kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/空気圧:フロント230kPa・リア220kPa/試験車両:プリウス DAA-ZVW30 1790cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施</p>   |
| <b>P52の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/試験荷重:4.83kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/試験車両:アア DBA-ZR80G 1980cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施</p>   |
| <b>P53の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:175/65R15 84H/試験荷重:3.92kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:175/65R15 84H/空気圧:フロント230kPa・リア230kPa/試験車両:アクア DAA-NHP10 1490cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施</p> <p>※3[テスト条件]タイヤサイズ:175/65R15 84H/空気圧:フロント230kPa・リア230kPa/試験車両:アクア DAA-NHP10 1490cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:4000km走行時に1回実施</p>   |
| <b>P55の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91S/試験荷重:4.82kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機   |
| <b>P58の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:235/60R18 103W/試験荷重:6.87kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:235/60R18 103W/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/試験車両:Q5 ABA-8RCNCF 1984cc フルタイム4WD/試験距離:8000km/ローテーション:2000km走行時に1回実施</p>  |
| <b>P59の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:225/65R17 102H/空気圧:210kPa/速度:40km/h/試験車両の排気量及び駆動方式:2360cc 4WD/路面の種類:アスファルト路 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:225/65R17/試験荷重:6.67kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センターの室内ドラム試験機</p>   |
| <b>P60の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:275/65R17 115T/空気圧:フロント220kPa・リア220kPa/試験車両:トヨタ ランドクルーザー プラド CBA-TRJ150W 2690cc 4輪駆動/試験距離:10000km/ローテーション:2500km走行毎に車両内、車両間で計3回実施 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:275/65R17 115T/試験荷重:9.53kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機</p>   |
| <b>P63の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:R710 145/80R12 80/78N, R680 145R12 6PR/空気圧:フロント260kPa・リア350kPa/試験車両:7シフトEV EBD-S321M 658cc 後輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:2000km走行時に1回実施 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA R710 145/80R12 80/78N, ECOPIA R680 145R12 6PR/試験荷重:4.41kN/空気圧:350kPa/試験速度:100km/h/試験場所:当社技術センター室内のタイヤ動的接地面解析装置/試験方法:室内ドラム試験機上でタイヤを回転し、タイヤ接地面に発生する接地圧を計測</p>  |
| <b>P64の注釈</b>    | ※3[テスト条件]タイヤサイズ:R710 145/80R12 80/78N, R680 145R12 6PR/試験荷重:3.75kN/空気圧:350kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 <p>※4[テスト条件]タイヤサイズ:R710 145/80R12 80/78N, R680 145R12 6PR/空気圧:フロント260kPa・リア350kPa/試験車両:ハイゼットカーゴ EBD-S321V-ZRRF 658cc 後輪駆動/初速度:80km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):ECOPIA R680 33.4m, ECOPIA R710 33.5m</p>  |
| <b>P65の注釈</b>    | ※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/80R15 107/105L/試験荷重:9.56kN/空気圧:450kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機/転がり抵抗係数(RRC)の結果は、ECOPIA R680:7.3×10 <sup>-3</sup> , DURAVIS R670:9.4×10 <sup>-3</sup> です。 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:195/80R15 107/105L/空気圧:フロント325kPa, リア425kPa/試験車両:トヨタ ハイエースKR-KDH200V 2500cc 後輪駆動/試験距離:10,000km/ローテーション有無:有(装着位置固定で2,500km毎に車両間ローテーション実施)</p> <p>※3[テスト条件]タイヤサイズ:195/80R15 107/105L/空気圧:フロント300kPa, リア350kPa/試験車両:トヨタ ハイエースKR-KDH200V 2500cc 後輪駆動/初速度:80km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離:ECOPIA R680 37.0m, DURAVIS R670 37.3m</p>   |
| <b>P67の注釈</b>    | ※1 転がり抵抗試験 室内ドラム試験機による計測。タイヤに一定の荷重を負荷し、一定の速度のもとに回転する時の接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定。[テスト条件]タイヤサイズ:195/85R16 114/112L/リム:16×5.5J/空気圧:600kPa/荷重:11.57kN/速度:80km/h 転がり抵抗係数(RRC)の結果は、R201:63.3×10 <sup>-4</sup> R205:92.0×10 <sup>-4</sup> です。●タイヤ転がり抵抗の低減率は、車両実燃費の向上率とは異なります。 <p>※2 試験場所:関東地区の一般道/評価車両:いすゞエルフ(BKG-NMR85AN)/装着タイヤサイズ:195/85R16 114/112L/装着バタン:ECOPIA R201, DURAVIS R205/装着リム:16×5.5J/装着方法:全輪同一サイズ装着/空気圧:F/R共に600kPa/比較方法:装着位置固定で2,500km毎に車両間ローテーションを実施し、10,000km走行時点での装着輪別タイヤの平均推定摩耗寿命を算出。指数差が小さいフロント軸データを採用し、推定ライフ指数を算定する。</p> <p>※3 転がり抵抗試験 室内ドラム試験機による計測。タイヤに一定の荷重を負荷し、一定の速度のもとに回転する時の接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定。[テスト条件]タイヤサイズ:205/85R16 117/115L/リム:16×5.5J/空気圧:600kPa/荷重:12.00kN/速度:80km/h/転がり抵抗係数(RRC)の結果は、M812:73.8×10<sup>-4</sup>, M810:92.9×10<sup>-4</sup>です。●タイヤ転がり抵抗の低減率は、車両実燃費の向上率とは異なります。</p> |
| <b>P68の注釈</b>    | ※1[テスト条件]テスト場所:関東以西地区の一般道/道路条件:一般道100%/評価車両:いすゞエルフ/装着タイヤサイズ:195/85R16 114/112L/装着バタン:R205, R202/装着リム:16×5.5J/装着方法:全輪同一サイズタイヤ装着/空気圧:F/R共に600kPa/比較方法:装着輪別12,000km走行時の平均推定タイヤライフを比較。指数差が最小となっているリアのデータを選択する。 <p>※2[テスト条件]タイヤサイズ:205/65R16 109/107L/空気圧:フロント600kPa/リア600kPa/試験車両:いすゞエルフ SKG-NMR85AN 平成24年式/試験距離:10,000km/ローテーション有無:無(回転方向は変わらず、フロントは5,000km毎、リアは2,500km毎に、同一車両内の左右で入れ替えを実施)</p> <p>※3[テスト条件]タイヤサイズ:195/85R16 114/112L/空気圧:フロント600kPa/リア600kPa/試験車両:いすゞエルフ3+PB-NKR81A 平成16年式/初速度:40km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):DURAVIS M804:10.6m M810:11.3m</p>   |

※上記テスト条件に関するさらに詳細なデータについてはタイヤ公正取引協議会に届けてあります。  
※試験結果はあくまでもテスト個であり運転の仕方によっては異なります。